

グローバル社会における“市民性”を育む ～かながわで共に生きていくために～

2020年2月15日(土) 神奈川韓国会館ホール／参加無料 定員50名

【趣旨】

グローバル化に伴い地域の多文化化が進む中、神奈川県では多文化社会を生きる上で様々な課題が見られます。また、2019年4月には、外国人労働者の受入れ拡大を目的とした改正入管法が施行されました。こうした背景を踏まえると、多文化社会において異なる背景を持つ人々が共に生きていくためには、一人一人が尊重され、その多様性を活かしながら協働する姿勢（市民性）を育むことが重要ではないでしょうか。

第8次（2018・2019年度）21世紀かながわ円卓会議では、こうした趣旨のもと研究会を立ち上げ、神奈川県などの事例を通して研究者や実務家、ジャーナリスト、運営委員の方々と議論を重ね、昨年11月には「地域活動」の視点から、12月には「教育」の視点から、多様なルーツを持つスピーカーを招き、ミニシンポジウムを開催しました。今回のシンポジウムでは、2年間のまとめとして、改正入管法などにも触れながら、多文化社会とはどのような社会なのか、また、それを目指すために必要な視点や市民性とはどのようなものなのかを考えるために様々な登壇者から話を聞き、参加者同士でのディスカッションを行うことで理解や問題意識を深めていきたいと思ひます。

登壇者



【鈴木 江理子】
国士館大学文学部教授



【渡部 カンコロ
ンゴ 清花】
NPO法人WELgee代表



【山根 俊彦】
NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ理事



【山田 貴夫】
ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク事務局



【柳 晴実】
NPO法人かながわ外国人すまいるサポートセンタースタッフ



【辰野 まどか】
(一社) グローバル教育推進プロジェクト代表理事



【アクセス】

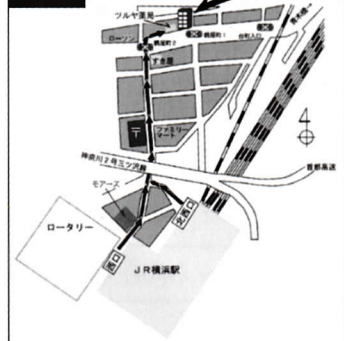
交通案内

会場：神奈川韓国会館 7階 多目的ホール

住所：神奈川県
横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1

JR線・東急東横線・京浜急行線 横浜駅 きた西口出口より徒歩5分

MAP



【21世紀かながわ円卓会議運営委員会】（五十音順）

- ・小川 泰子（社会福祉法人いきいき福祉会理事長／ラポールグループ総合施設長）
- ・樺山 紘一（印刷博物館館長／東京大学名誉教授）
- ・黒田 玲子（東京大学名誉教授／中部大学総合工学研究所特任教授）
- ・高島 肇久（株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長）
- ・林 義亮（神奈川新聞社顧問／神奈川新聞厚生文化事業団理事長）



【登壇者プロフィール】

鈴木 江理子（すずき・えりこ）

国土館大学文学部教授。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士（社会学）。認定NPO法人多文化共生センター東京理事、NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク副代表理事、公益財団法人かながわ国際交流財団理事、移民政策学会理事・事務局長等を兼任。移民政策や人口政策、労働政策を研究するかわら、外国人支援の現場でも活動。主著に『「多文化パワー」社会』（2007年）、『日本で働く非正規滞在者』（2009年、平成21年度冲永賞）、『東日本大震災と外国人移住者たち』（2012年）、『新版 外国人労働者受け入れを問う』（2019年）など。

山田 貴夫（やまだ・たかお）

1972年慶応義塾大学法学部政治学科卒業、同年川崎市役所入所。外国人登録、人権共生推進担当等を担当し、2010年3月退職。2006年3月、法政大学大学院政治学科政治学専攻卒業。1970年に日立製作所の民族差別に基づく就職差別に対する裁判闘争支援団体『朴君を囲む会』に事務局として参加以来、現在もヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク事務局などに所属しながら、川崎を中心に民族差別撤廃運動を続けている。主な著作として、梁泰昊・山田貴夫共著『新 在日韓国・朝鮮人読本』（2014年）等。

渡部 カンコロンゴ 清花（わたなべ・かんころんご・さやか）

1991年生まれ。日本に来た難民申請者の社会参画とエンパワメントを目指すNPO法人WELgee 代表。様々な背景を持つ子ども若者が出入りする実家で育つ。大学時代はバングラデシュの紛争地にて2年間、NGOの駐在員・国連開発計画(UNDP)インターンとして平和構築プロジェクトに参画。自身も難民と暮らしつつ、経験・スキル・意欲を活かした就活に伴走する事業に取り組む。グローバル・コンソーシアムINCO主催『Woman Entrepreneur of the Year Award 2018』グランプリ受賞。Forbes 30 under 30のJapanとAsia 選出。東京大学大学院 総合文化研究科・人間の安全保障プログラム修士課程在学中。

柳 晴実（りゅう・ちよんしる）

大阪生まれの在日朝鮮人3世。小中高と朝鮮学校で学び、大学生の時に大阪の公立学校に設置された「民族学級」に出会う。その後「民族講師」として公立小中学校の「民族学級」に15年間携わる。公立学校に通う韓国朝鮮につながる児童生徒に言葉や文化、歴史などを教えるとともに、国際理解教育・多文化共生教育に、教職員とともに取り組む。上京後は、NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンタースタッフとして、神奈川県外国籍住民の生活をサポート。また、横浜市内の公立学校で多文化共生教育の授業に講師として関わる。外国籍県民かながわ会議第9期元委員、第10期の元副委員長。

山根 俊彦（やまね・としひこ）

1979年に神奈川県立高校の教員になり、そこでの在日コリアン生徒との出会い以来、外国につながる生徒たちの支援にかかわる。現在は、NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ（略称ME-net）若者交流事業担当理事。また、神奈川県立高校で、非常勤講師として在県外国人等特別募集で入学した生徒たちの「個別対応（取り出し）授業」の担当と多文化教育コーディネーターを兼任している。現在、横浜国立大学都市イノベーション学府博士課程後期に在籍し、多文化共生教育の研究をしている。共著に『まんがクラスメイトは外国人』第1集、第2集（明石書店）など。

辰野 まどか（たつの・まどか）＊ファシリテーター

17歳の海外体験をきっかけにグローバル教育に目覚める。大学時代に世界100都市以上を訪れ、様々なプログラムを通して、グローバル教育を体験する。コーチング専門会社勤務後、米国大学院留学し、異文化サービス・リーダーシップ・マネジメント修士号取得。その後、米国教育NPOにおいてグローバル教育コーディネーター、内閣府主催「世界青年の船」事業コース・ディスカッション主任等を通して、世界各地でグローバル教育を実践。2012年末に（一社）GiFTを設立し、グローバル・シチズンシップ（世界をよりよくする志）育成のための活動を開始。現在は「トビタテ！留学JAPAN」高校生コース事前事後研修やアジア7カ国を舞台にした海外研修等、中学・高校・大学・企業を対象としたグローバル・シチズンシップ育成に関するプロデュース、研修、講演等を行っている。東洋大学食環境科学研究所客員教授。

【スケジュール】

| | 内容 |
|-------------|--|
| 12:30～ | 受付開始 |
| 13:00～ | 開会挨拶 |
| 13:10～（30分） | 基調講演：「『多文化共生』とは何か？」 鈴木江理子 |
| 13:40～（60分） | 「多様なルーツを持つ人々が『共に生きる』ために～それぞれの視点から～」 ・山田貴夫、山根俊彦、柳晴実、渡部カンコロンゴ清花 |
| 14:40～（10分） | 休憩 |
| 14:50～（20分） | 質疑応答 |
| 15:10～（60分） | グループワーク ファシリテーター：辰野まどか |
| 16:10～（10分） | 総括 |
| 16:20～ | 閉会挨拶 |

【申込み】

メールまたはFaxにて、①氏名、②所属、③住所（市町村名まで）、④ご連絡先（メールアドレス等）、⑤本シンポジウムを知った媒体について記載の上、2月9日（日）までにお申込み下さい（先着順/定員50名）。※今回のシンポジウムお申込みにあたってご記入頂いた個人情報当財団のみが取扱い、本シンポジウムの事務連絡以外の目的には使用致しません。

【申込先】メール：entaku@kifjp.org Fax: 046-858-1210

【お問合せ】（公財）かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター TEL：046-855-1821

【主催】（公財）かながわ国際交流財団

【共催】神奈川県/NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター

【後援】ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク/一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)/認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net)/NPO法人WELgee